

運送業の労災、とにかく多い、「転落・挟まれ」

運転手 積み降し作業時、荷台から転落事故多発

運転手が荷主企業・現場などで荷物を積み降しする際に荷台から誤って転落して負傷する例が目立っている
今後、高所作業での積み降し時に脚立や足場の点検を十分に行うようにしましょう

◇凍結路面 スピードを落とし、車間距離をとり、急ハンドルを控えましょう◇

◇0℃前後の気温のときが特に、スリップの危険が高まる◇

冬道での追い越し・車線変更は事故に直結！
危険な追い越し 生命の危険！
冬道は…見えない、滑る、曲がれない、止まらない

気を付けないと…
落ちるぞ！ すべるぞ！ ぶつかるぞ！

◇足を滑らせ、荷台からの転落にも注意しましょう◇

夕暮れの時間帯は要注意

※※ 危険予測で事故防止 ※※

午後4時～午後6時が最も多く、次いで午後6時～午後8時が多い

- 道路を渡る歩行者がいるかも！ 交差点やその付近では、必ず、安全を確認して通行！
- 信号を守らない歩行者がいるかも！ 押しボタンを押さず、赤信号で渡る歩行者にも要注意！

※ 「バック確認OK！」

※ 「交差点確認OK！」

※ 「積み降ろし確認OK！」

◆労災事故防止 トラックの荷台から…「墜落・転落」、「挟まれ」防止◆

◆作業前、『事前打合せ』を行い、安全に作業を行いましょ◆

◇見直そう 「慣れ」の作業◇

積み込みや付帯作業にも注意が必要
荷崩れ、作業者が巻き込まれ死亡

バスの運転手は、「ぼーっとしていた」

スクールバスがはみ出し、軽乗用車と正面衝突

◇気のゆるみ、『漫然運転』注意◇

◇わき見は厳禁、100%運転に集中しましょう◇

2020/12/18(金) 19:01

18日午前10時40分ごろ、滋賀県の市道で、大型バスがセンターラインをはみ出し、対向車線を走っていた軽乗用車と正面衝突し、さらに軽乗用車の後ろを走っていた軽乗用車が追突したということです。バスは、大学が委託しているスクールバスで、駅から大学に向かうため27人の学生が乗っていましたが、学生にけがはありませんでした。調べに対し、バスの運転手は「ぼーっとしていた」と話しているということです。

運転中、落ちたもの取ろうと…目を離した際に追突

軽トラックが、バスや車に追突

停車してから、拾えばよい

ぶつかるまで、よそ見してられる感覚がわからない。

2020/12/18(金) 18:09

18日午前7時すぎ、東京都で、軽トラックが停車中の路線バスに追突し、はずみで隣の車線を走っていた車にも追突した。路線バスに乗客はおらず、運転手など3人が軽傷という。現場は直線道路で、軽トラックの運転手は、運転中に座席の下に落ちた物を取ろうとして、目を離した際に路線バスに追突したという。

深夜 大型トレーラー同士が正面衝突 運転手1人死亡

撤去作業が難航し、事故発生から15時間にわたって通行止め

◇2時間走行、15分休憩 守ろう！ 自分の命、他人の命◇

2020/12/18(金) 19:00

18日午前3時過ぎに、福井県で大型トレーラー同士が正面衝突した。この事故で、運転手男性(27)が腹を強く打つなどして死亡した。対向するトレーラーを運転していた、運転手の男性(43)にケガはなかった。現場周辺は車両の撤去作業が難航し、事故発生から15時間にわたって通行止めとなった。